

# 平成27年山梨県観光入込客統計調査結果

## 調査方法 ~観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく調査(平成22年4月より導入)

観光入込客数調査・・・379地点(施設等295地点、行祭事・イベント84)  
 ・ 自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館、ワイナリー等)、温泉、スポーツレクリエーション(公園、遊園地等)、都市型観光(農産物直売所等)、その他(道の駅等)、行祭事・イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査

アンケート調査・・・3,299サンプル

- ・ 対面聞き取り方式
- ・ 四季毎に、年4回×県内10箇所で開催
- ・ 主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関、満足度 等

宿泊客数調査・・・1,311施設

・ 観光庁が実施する宿泊旅行統計調査の結果を使用。

## 結果概要

**山梨県観光入込客(実人数)は3,146万2千人であり、前年比 +4.8%**

・ 日帰り客(実人数)は2,283万7千人であり、前年比 +0.9%

・ 宿泊客(実人数)は862万5千人であり、前年比 +16.7%

・ 県外客(実人数)は2,399万1千人であり、前年比 +5.5%

・ 県内客(実人数)は747万1千人であり、前年比 +2.6%

県外客には外国人を含む

**外国人延べ宿泊者数(速報値)は131万3千人であり、前年比 +38.4%**

外国人延べ宿泊者数に関しては観光庁宿泊旅行統計調査の数字を比較

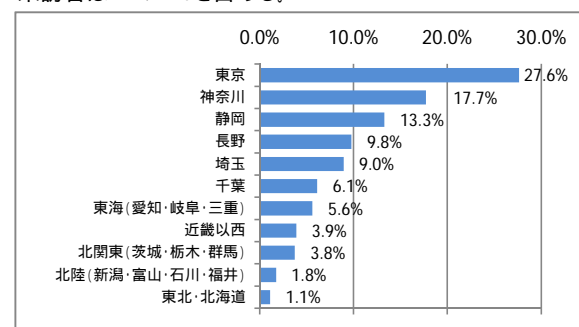
**観光消費額は、県全体で3,967億円であり、前年比 +11.0%**

**1人当たりの平均観光消費額は、12,609円であり、前年比 +5.9%**

~アンケート調査結果~

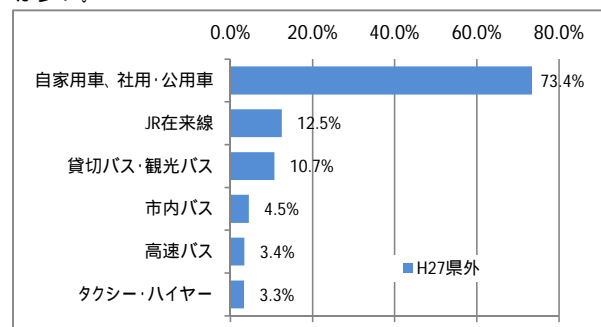
・ 県外観光客の居住地

本県から近い距離の都県が大半を占めており、隣接都県からの来訪者は77.4%を占める。



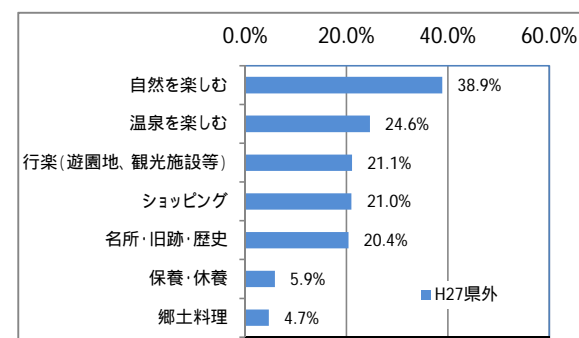
・ 県外観光客の交通手段(複数回答)

車を利用した来県者が圧倒的に多く、次いでJR在来線の利用が多い。



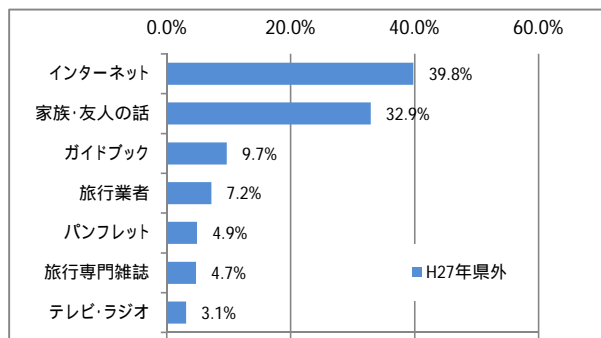
・ 県外観光客の旅行目的(複数回答)

昨年に引き続き、自然や温泉を楽しむ目的での来県者が多い。



・ 旅行計画の参考資料(複数回答)

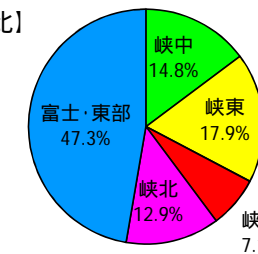
インターネットでの情報や普段身近に接する人からの情報を旅行の参考とする来県者が多い。



## 圏域別の比較(実人数)

全ての圏域において、前年を上回る結果となった。富士・東部及び峡東圏域では、東日本大震災のあった平成23年から増加を続けている。

- ・ 峡中は465万人であり、前年比 +5.9%
- ・ 峡東は563万3千人であり、前年比 +0.3%
- ・ 峡南は223万9千人であり、前年比 +7.1%
- ・ 峡北は406万1千人であり、前年比 +0.4%
- ・ 富士・東部は1,487万9千人であり、前年比 +7.3%



## 月別の比較(実人数、3カ年比較)

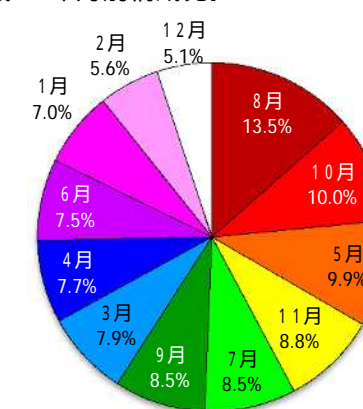
概況

- ・ 平成26年と比較して4.8%の増加、平成25年と比較して6.0%の増加となった。
- ・ 一年のうちで8月が424万人(13.5%)と最も多く、次いで10月、5月と続く。
- ・ 伸び率が最も高かったのは2月であり、前年比62.0%の増加。一方、伸び率が最も低かったのは7月の前年比11.4%の減少である。

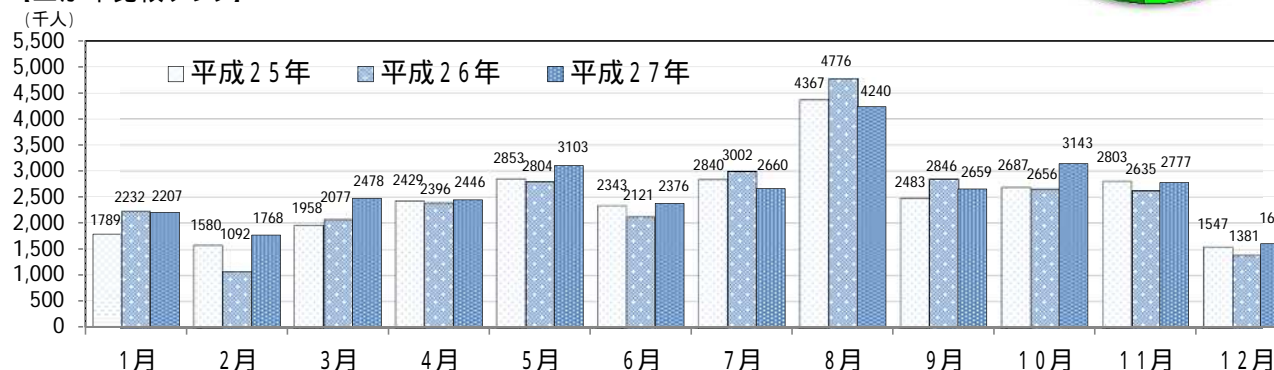
(三カ年比較表) (単位:人、%)

項目	平成25年	平成26年	平成27年	対前年比	対前々年比
1月	1,789,395	2,231,725	2,207,364	98.9%	123.4%
2月	1,580,109	1,091,550	1,768,209	162.0%	111.9%
3月	1,957,557	2,076,894	2,477,696	119.3%	126.6%
4月	2,429,422	2,395,805	2,446,162	102.1%	100.7%
5月	2,852,782	2,803,601	3,103,067	110.7%	108.8%
6月	2,343,116	2,120,823	2,375,648	112.0%	101.4%
7月	2,839,956	3,002,094	2,659,799	88.6%	93.7%
8月	4,366,908	4,776,161	4,239,667	88.8%	97.1%
9月	2,483,176	2,846,438	2,658,736	93.4%	107.1%
10月	2,686,868	2,655,787	3,142,961	118.3%	117.0%
11月	2,802,535	2,634,851	2,777,415	105.4%	99.1%
12月	1,546,613	1,381,114	1,605,251	116.2%	103.8%
年計	29,678,438	30,016,843	31,461,975	104.8%	106.0%

(平成27年月別構成比)



(三カ年比較グラフ)



月別の傾向

- ・ 1月は、気温は平年並みであったが、天候不順の日が多かったため前年比は98.9%と減少した。
- ・ 2月、3月は、県の気象観測史上最高の豪雪の影響により激減した前年から回復し、2月は前年比162.0%と大幅に増加した。
- ・ 4月~6月は、甲斐善光寺において7年に一度の御開帳があったことや、山梨リニア実験線にて超伝導リニア車両が世界最高速度を記録し話題となるなどのプラス要因があったこと等から、堅調な増加となった。
- ・ 7月~9月は、天候不順や猛暑日が続いたことに加え、前年の、全国高等学校総合体育大会で県内が競技会場になったことや、NHK連続テレビ小説「花子とアン」の放送の影響で増加した分が、今年になって減少に転じたこと等により、前年比は減少したと考えられる。
- ・ 10~12月は、平年に比べ好天に恵まれ、「おもてなしやまなし!ふるさと旅行券」の利用や、大村智・北里大学名誉教授のノーベル医学生理学受賞による注目度の上昇などが、観光客数の増加に影響したと考えられる。